

II 学校の概要

I 校歌

作詞 大塚 盈

作曲 松田 喜一

ふる きき—き えださすにわ—べ きよきみ—
 ず おのずとわけ—り はるかなるれき
 しをこ—こ—にあおきく—も においてながる—ああほ
 る— われらわれら このまなびやに われら まなべり

平成30年4月 ピアノ伴奏曲 松山 太朗

<p>三</p> <p>この学舎に ああ芭露 われらわれら われら励めり</p> <p>ああ芭露 われらわれら われら励めり</p> <p>勤勞の 想はあつし</p> <p>豊かなる 大地をここに</p> <p>あら草も まきばにかおる</p> <p>渡る風 畑の面にそよぎ</p>	<p>二</p> <p>この学舎に われらわれら われら励めり</p> <p>ああ芭露 われらわれら われら励めり</p> <p>大いなる 望みは生まる</p> <p>若きわが 命をここに</p> <p>広き海 ま近にせまる</p> <p>登り立つ 潮見の丘ゆ</p>	<p>一</p> <p>古き木々 枝さす庭べ</p> <p>清き水 おのずとわけり</p> <p>はるかなる 歴史をここに</p> <p>青き雲 において流る</p> <p>ああ芭露 われらわれら われら励めり</p> <p>この学舎に われら学べり</p>
---	--	---

湧別町立湖陵中学校校歌

昭和38年12月13日 制定

作詞 山田敏夫 氏
作曲 村井久昭 氏

あ あ さ く ほ く - の あ さ - ほ ら - け え い
ち の ひ か り ち に - み ち - て
し ん り の み ち を て ら す と き こ こ
に つ ど い し わ か - き ら は み ら
い に た け - き ま ゆ あ げ ん こ り よ
う わ れ ら こ り よ う ち ゅ う が く

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <p>四</p> <p>あ あ 昏 鐘 は 丘 に 鳴 り
牧 牛 す で に 草 食 ま ず
残 光 影 を 沈 む と き
文 化 を 担 う 若 き ら に
思 想 の 花 や 開 く べ し
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園</p> | <p>三</p> <p>あ あ 潮 な り や オ ホ ー ツ ク の
風 氷 雪 を ま じ え つ つ
試 練 の 曲 を 奏 す と き
学 び て や ま ぬ 若 き ら の
ゆ る が ぬ 心 歌 う な り
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園</p> | <p>二</p> <p>あ あ 流 麗 の 芭 露 川
先 人 の 史 刻 み つ つ
サ ロ マ の 湖 と 展 く と き
腕 く み 交 わ す 若 き ら に
拓 世 の 固 き 誓 い あ り
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園</p> | <p>一</p> <p>あ あ 朔 北 の 朝 ぼ ら け
英 知 の 光 地 に 満 ち て
真 理 の 道 を 照 ら す と き
こ こ に 集 い し 若 き ら は
未 来 に 健 き 眉 あ げ ん
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園</p> |
|---|---|---|---|

3 校章

◎ 校章のいわれ

豊かな酪農村を表すクローバーにサロマ湖の波を配し、地域の自然と、そこに営まれる生活を描き出し、中央に中学校を円に形どり、真理追求の知性をもって発展する意志をペンに託してある。

湖陵中学校のこの校章を元に、新たに義務教育学校になるにあたり、中の文字を「芭」に変更した。



◎ 湖陵中学校初代教頭 堂坂 美義 氏 案

◎ 昭和38年12月13日 制定
平成30年 4月 1日 改訂

4 認可学級数及び在籍生徒数 学級数 10 児童生徒数 41名

	前期課程						後期課程			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
男子	6	2	2	1	0	3	1	3	2	20
女子	3	3	2	6	4	1	1	0	1	21
合計	9	5	4	7	4	4	2	3	3	41

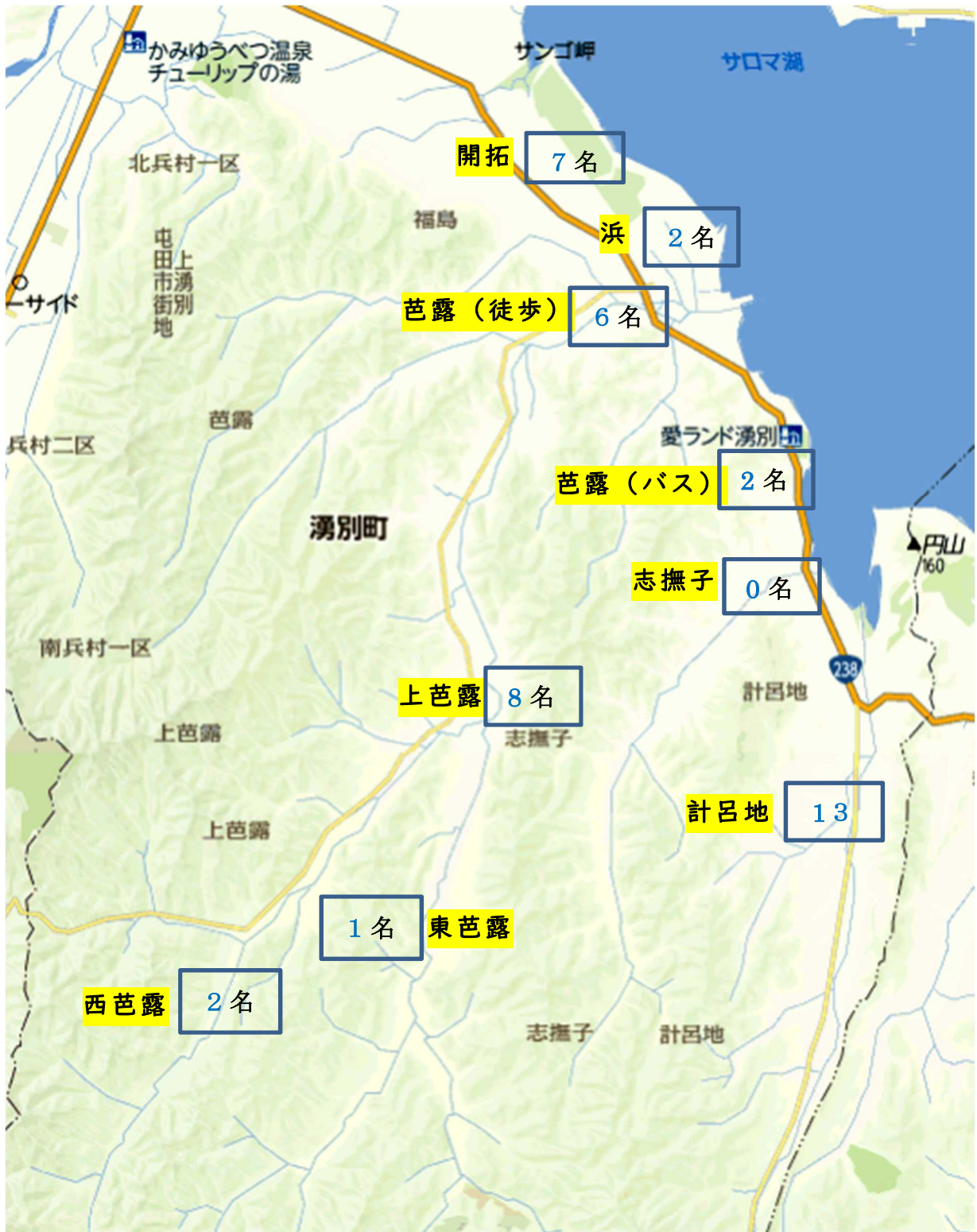
5 通学方法

	徒歩（自転車）	通学バス	合計
前期課程	6	27	33
後期課程	0	8	8
合計	6	35	41

6 保護者の職業

	酪農	漁業	その他	合計
前期課程	21	4	8	33
後期課程	6	0	2	8
合計	27	4	10	41

生徒通学区域図



7 校下・地域の概要

校下は、湧別市街地区から南方に約12キロメートル離れたサロマ湖（網走国定公園）沿いに面しており、風光明媚な環境にある。酪農経営と漁業経営が中心で、畑作経営も見られる。気候は、夏はオホーツク海の影響で涼しく、冬は比較的温暖で積雪が少ない。また、年間を通して風が強く雨量が少ない。しかし大雨の時には、床下浸水や床上浸水になる時もある。そのため、芭露川の拡幅改修工事を数年かけて行っている。

平成30年4月1日に芭露小学校と湖陵中学校が統合し、芭露学園となって生まれ変わった。校区は、芭露・上芭露・東芭露・西芭露・志撫子・計呂地の6地域からなり、戸数約382戸、人口965人（平成22年10月1日現在）、PTA戸数28戸である。

芭露地区は、明治28年に開拓が始まり平成7年8月に開基100年を迎えた。地理的に湧別市街地区から離れており、図書館・文化センターなどの公的文化施設を活用する機会が少ない。しかし、湖・河川・山林・緑の畑地などの自然と直接関わりをもつことができ、のびのびと生活している。

8 学校（児童生徒）の概要

昭和55年に小学校が統合し、新設芭露小学校として誕生した。昭和57年には、通算80周年記念協賛会式典を挙行了した。平成3年には、6地区全ての統合校となった。校舎は3回の水害に見舞われた。湖陵中学校は、昭和38年4月より統廃合が始まり、昭和44年までに上記6地区が全て統合され現在に至っている。平成25年11月には50周年を迎えた。その芭露小学校と湖陵中学校とが、平成30年4月1日、芭露学園として義務教育学校となって新設された。

保護者や地域住民の学校に対する関心は高く、協力的である。校地の環境整備や諸行事には、家族ぐるみで協力や参加が見られる。家庭においても、曾祖母、祖父母などと一緒に生活する生徒が多く、穏やかな性格の生徒が多い。

バス（スクールバス1台・町営バス1台・ワゴン車1台 合計3台）による登下校の生徒が80%を超え、部活動が時間的に制約される。一部の部活動については、保護者対応で、バス運行時間後も行っている。

(1) 児童生徒の特色

- ① 明るく素直であり、まじめである。特に学校行事に対して企画立案等主体的に参加し、創造的な行事づくりに取り組む。
- ② 学年の隔たりがなく、家族的な雰囲気である。
- ③ 学習態度など基本的な姿勢が身に付いている。
- ④ 問題行動はあまり見られないが、保育所からの人間関係が固定気味であり、望ましい学級集団や人間関係の指導を徹底している。
- ⑤ 運動に親しみ、楽しく生活している。
- ⑥ 動植物など自然に対する興味関心が高く、親しみを持っている。

(2) 特色ある主な教育活動

- ① 9年間を見通した教育課程を実現する教科指導の充実
 - ア 専門性の高い教育活動を展開するための教科担任制の充実（後期課程所属職員による1～6年生への授業）
 - イ 全ての教科において免許外所有教科担任による指導を実現（前期課程所属職員による保健体育・美術指導、巡回指導教諭）
- ② 9年間を見通した外国語活動・外国語科の充実
 - ア 低学年（1・2年）に年間15時間の外国語活動
 - イ 免許状を有する教諭による専門性の高い指導やALTの効果的活用
- ③ 9年間の学びのスタイルを整え、子どもたちに「できた」「わかった」を実現する授業改善

- ア 1～6年と7～9年を担当する先生方が一緒に行う校内研修
- イ 1～9年生で統一する授業スタイルの確立
- ④ 地域の人材を活用した教育の実践
 - ア 酪農や畑作、漁業体験、工場見学や遺跡見学等
- ⑤ ピア・サポートプログラムの推進
 - ア 心の成長と思いやりのある子どもを育てる
 - イ ウェルビーイングの向上を目指す
- ⑥ 義務教育学校としての一体感ある活動の充実
 - ア 1～9年生の関わり合いを通して人間関係能力やコミュニケーション能力を育成する。
 - イ 上級学年のリーダーシップの育成
- ⑦ 体力の向上
 - ア 休み時間に設定した「のびのび運動」での持久力や縄跳び、鬼ごっこなど
 - イ 学年や個人毎に目標を設定した合同体育の活動（7～9年生）
- ⑧ 「湖陵太鼓」等を活用した地域活動への参加
 - ア 地域に唯一存在する学校として
- ⑨ 湧別高校との中高一貫教育の推進、キャリア教育の充実
 - ア スケールメリットを生かした、多様な体験活動や講演等の実施
- ⑩ 特別支援教育の理解と推進
 - ア 本校に所属する全ての子どもに対して、子ども一人一人の違いや良さを認め合いながら、一人一人に応じた適切な教育を実践する。

9 児童生徒数推移

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
1年生	4	5	7(2)	3	7	6	4
2年生	6(1)	4	5	7(2)	3	7	6
3年生	4	6(1)	4	5	7(2)	3	7
4年生	3(2)	4	7	4	5	7(2)	3
5年生	2	3(2)	4	7	4	5	7(2)
6年生	4	2	2(2)	4	7	4	5
前期合計	26	27	33	32	35	34	34
7年生	3	4	2	2(2)	4	7	4
8年生	3(1)	3	3	2	2(2)	4	7
9年生	4	3(1)	3	3	2	2(2)	4
後期合計	11	11	8	9	10	15	15
全児童生徒数	37	38	41	41	45	49	49